

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール吹田駅前			
○保護者評価実施期間	2025年10月15日 ～ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ～ 2025年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・指導員の得意なことや専門的な資格を活かした支援を提供しているため、多角的な視点で療育が行われている。 ・音楽があることで、その場が和み気持ちがリラックスされる（音楽療法・アートセラピーなど）	・専門性を活かした内容ではあるが、他の指導員も取り入れて活用できるかどうかを常に考えている。	・専門性を活かしながらもあくまでも主役は子どもであり、子どもが輝けることは何かを追及していく。
2	・お子様の好きなことや得意なことを取り入れたオリジナルのプログラム内容の為、遊具や教材、環境の設定など一人ひとりに寄り添った活動内容になっている。	・お子様の発達について多角的に考えていけるように、日々のカンファレンスや事例検討をするなど、療育の質を高めるための話し合いを大切にしている。	・個を輝かせるプログラム内容を展開していきながら、他児と一緒に活動する合同プログラムなど、社会性を育む活動内容を取り入れる。
3	・お子様の生活のリズムを整え、お子様の健やかな成長と、自分らしく生きていく力を伸ばしていくための支援を行っている。	・お子様の生活リズムを整えていく支援として、睡眠の状況を伺いながら、それぞれのご家庭に合った過ごし方を一緒に考えながら、必要に応じてアドバイスさせていただく。 ・食事・トイレトレーニング・身支度など、お子様の発達段階に合わせた取り組みを、保護者様と考えながらご支援している。 ・言葉の発達についてのご相談や、言語聴覚士からのアドバイスなども行っている。	・事業所内での相談会などを通して、保護者様がもっと気軽に相談しやすい場や機会を提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・今年度のグループ活動は、固定メンバーではなく、不定期に開催し参加者を募っていたため、ご希望された方が参加し難しい。（次年度は固定利用の方で実施予定）	・利用希望者とその都度違うため、継続的な活動内容を取り入れにくい ・来所しやすい曜日に、グループ活動を実施できなかった。	・次年度に向け希望者を募り、固定の利用希望者で実施することで、目標も立てやすくなり活動内容の充実していけるようにする。
2	・感覚調整遊具を使った活動を数名で行うため、その日のご利用人数や発達段階に合わせた環境設定を考えていく必要がある。	・利用者に合わせて、部屋の割り振りや、遊具の調整などを細やかにを行い、安全に活動しやすい場を提供している	・日々の点検の実施、遊具の安全性や遊び方の工夫など研修を重ね、より楽しい活動を目指す。
3	・カンファレンスや日々の振り返りでの意見のやりとりが活発になりすぎて、時間内に収めるのに工夫が必要である。	・意見を整理して発言したり、記録の方法を工夫するなど、話し合いの時間を充実させるために、他の業務を合理的にした。	・記録や発言をまとめる力、それぞれの分析力の向上を目指し、ご利用者様が安心して通っていただけるスクールを目指す。